

## 1 学期始業式 式辞

148名の新入生の皆さんをお迎えして、いよいよ新しい年度がスタートします。新学期の始まりにあたり本校の校章ことについてご紹介したいと思います。美方高校の美 美しいという文字がモチーフとなっています。

本校は昭和44年に開学し、今年で56年目を迎えます。本校の校章について、当時の県教育委員長はこのように述べておられます。

「美方高校の校章を見て思いますのは、足がしっかり地に着いている、二本の足を見てご覧なさい。この地、泉ノ原の台地にしっかり両足をつけた、この美方高校の校章の姿こそ本校の伝統にしてみらいたい。」

また初代校長の荻田益二先生はこのように述べられています。

「美はどっしり腰を下ろしている。それは梅丈岳が三方五湖にどっしり腰を据えている姿を現している。」

皆さんいかがですか。美という文字でどっしりと地に足がついた威風堂々としたイメージを表した校章だということを、私も改めて感じました。

では、地に足がついた状態というのはどういうことを言うのでしょうか。辞書によると行動、気持ちなどがしっかりしている 落ち着いているとあります。つまり、堂々と落ち着いて、気持ちがしっかりして安定した状態である、そわそわせずに集中している。そんな人物になってほしい。私達の校章にはそんな願いがあったのですね。

今日からいよいよ1年が始まります。長い1年ですので、日によってはそわそわしたり、浮足立ったりすることがあると思います。

新しいことに挑戦するときやいざ勝負というここ一番のときには冷静さを欠いてしまうこともありますよね。そういうピンチの時には、この校章を思い出して見てください。どっしりと地に足をつけた美の文字が、皆さんを守ってくれているお守りのような存在に思える

のではないのでしょうか。校章にはそんな思いが込められているのです。

皆さんこの1年、どうか失敗を恐れずに、いろいろなことに挑戦を続けましょう。そして校章のように地に足をつけたどっしりした姿に成長されることを願っています。

令和6年4月9日 福井県立美方高等学校長 北村 徹

